

042

「やってみたい」と思える防災を目指す あそび防災プロジェクト

取組主体

株式会社 IKUSA

従業員数

18 人

想定災害

全般

実施地域

東京都/大阪府

- 遊びを通じた体験型防災アクティビティを開発、運営。防災イベントへの参加のハードルを下げ、「防災」について考え、行動する人を増やす。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

「やらないと」から「やってみたい」と思える防災へ

- 企業や自治体向けの体験型イベント企画・運営等を主な事業とする株式会社 IKUSA は、令和元年より自治体向けの体験型防災アクティビティ「あそび防災プロジェクト」を開発、運営している。
- 「あそび防災プロジェクト」には複数の企画があり、「防災運動会」や「防災ヒーロー入団試験」など、遊びを通じて大人も子どもも楽しく参加できるイベントとなっている。
- 遊びを通じた楽しいイベントにすることで、参加のハードルを下げ、防災に興味がない人や、興味があるけれど動き出せない、という人が防災にふれるきっかけをつくるとともに、防災を身近に感じてもらうことで、行動する人を増やすことを目的としている。
- 既存の防災イベントでは積極的に参加する人が増えていない、と感じていた同社が、自社のノウハウを活かして「楽しい」「参加したくなる」防災イベントをつくることのできるのではないか、と考えたのが開発のきっかけとなっている。

「自助」と「共助」を訓練するための体験を提供する

- 阪神・淡路大震災において、公的援助（公助）によって救助された人の割合は全体の 2.5%と言われており、自分で自分の身を守る「自助」、隣人を助ける「共助」が重要である一方、「自助」や「共助」に必要な知識や行動を習得するための防災訓練等に足を運ぶ人は少ない。
- 同社は、「体験すること」による学習定着率の高さに着目し、遊びを通じて楽しみながら学んだことを、いざというときの「自助」「共助」の力として活かしてほしいと考えている。

災害時に必要な知識と行動を学ぶために

- 「防災運動会」では、災害が起こったとき、段階に応じて必要な知識や行動が変わることを踏まえ、事前準備、災害発生時、発災直後、避難生活時、生活再建時の各フェーズを想定した競技が設定されており、それぞれ競い合いながら学びを深めていくことができる。例えば、「事前準備」では、クイズラリーで事前防災の知識や知恵を学び、「災害発生時」は、防災障害物リレーで、新聞紙でスリッパをつくって瓦礫の上を歩いたり、水消火器を使って火を消す動作をしたり、心臓マッサージを行ったりして、災害発生時の避難を想定した即応力を学ぶ。「発災直後」は、防災借り物競走で、オフィスや身の回りにあるものを使って、緊急事態への対応力を学ぶ。



災害を体験しながら知恵や知識を習得する
「防災運動会」



親子で楽しめる「防災ヒーロー入団試験」



防災クイズラリー



防災障害物リレー



防災借り物競走

オンラインで家族と防災を学べる「おうち防災運動会」

- 新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中で、同社は令和2年8月、オンラインチームビルディングアクティビティである「おうち防災運動会」を企画した。
- 同アクティビティは、「家にいるからこそできる防災」をテーマに特に企業向けのレクリエーションとして、運動会、イベント、防災意識啓発を実施したいというニーズに応えるものである。社員や家族とチームになり、協力しながらチームビルディングを行ったり、コミュニケーションをとったりしながら、楽しく防災を考え、学ぶことができる。
- 「おうち防災運動会」の種目には、「おうち探検！非常食探索トライアル」「防災謎解き 崩れゆく会議室からの脱出」「リアル防災間違い探し ONLINE」「おうちにあるもので防災対策！！防災借り物競争！」等がある。「おうち探検！非常食探索トライアル」は、災害発生前の事前準備について学ぶことができ、家族で備蓄について話し合うきっかけになる競技である。



家族で参加できる「おうち防災運動会」



おうち探検！非常食探索トライアルで
家の中の備蓄食材を探す

2 現状の課題・今後の展開等

- 同社は、災害は地域や季節、被災する人によって必要となる知識が異なるため、知識や知恵のアップデート、シェアを常に行っていくことが必要だと考えている。過去の災害を忘れず、その地域にあった知見をシェアするために、各地において、定期的にイベントが開催できるよう、働きかけを行っている。
- 同社は、堅苦しい印象のある「防災」を、楽しく、自ら参加したくなるものにすることで、一人でも多くの人が防災に触れるきっかけをつくっていきたいと考えている。そのために、同プロジェクトのような遊びの要素がある取組も防災研修として広く認知されるよう、周知していく考えである。

3 周囲の声

- 家にいるから家族も参加できて防災について話すきっかけになった。（「おうち防災運動会」参加者）
- この状況下でも安全にできる防災イベントで集客もしやすかった。（「おうち防災運動会」主催者）

担当者の声

- 「あそび防災プロジェクト」は防災に興味がない人や、興味があるけど動き出せない人に、防災に触れるきっかけをつくるためのプロジェクトです。日本の防災の課題である「自助」「共助」の経験値を「あそび」を通じて増やしていくことで、自分で助かる人、他人を助ける人をゼロから1にしていきたいと考えています。

問合せ先

株式会社 IKUSA 法人番号：2120001171009
TEL：03-5960-0193 E-Mail：ikusa@ikusa.co.jp

サイト URL

